

ミュージズ
Muse
水のほほえみ

3



前号のあらすじ

高校に進学した哲也は
進学校ならではの煩わしさも克服し
国立大学を目指して充実した
日々を過ごしていたが



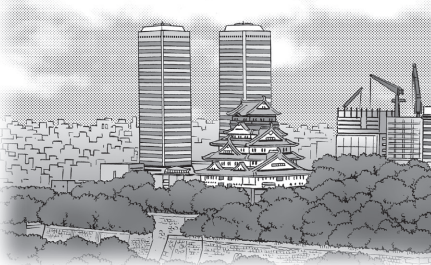
失恋と足の指先にできた軟骨の
除去手術のために大きく成績を
落としてしまい 受験に失敗



しかし医師や看護師の手厚い
サポートに癒された哲也は
医療の道に進むことを決意し
家計を鑑みて 大阪の薬種商
専門学校へ入学



希望に胸を膨らませて
大阪での新生活をスタートした
哲也だったが 同級生たちとの
人生観の違いに愕然とする



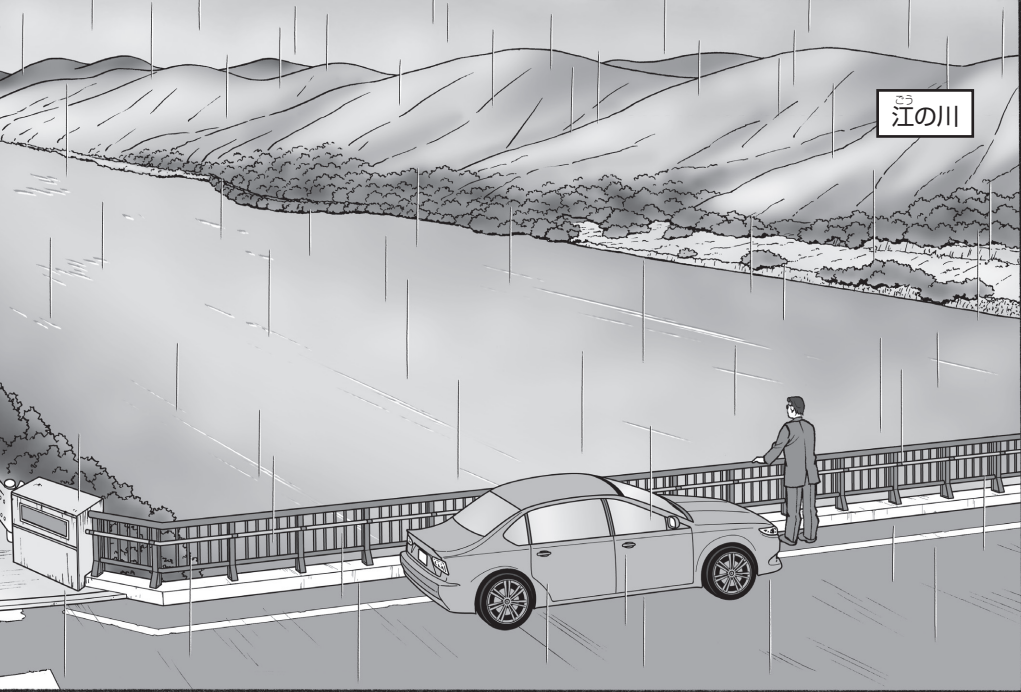
ほとんど全員が
薬局薬店経営者の子弟であり
将来を約束された彼ら相手に
未来を熱く語る虚しさ
に脱力する哲也



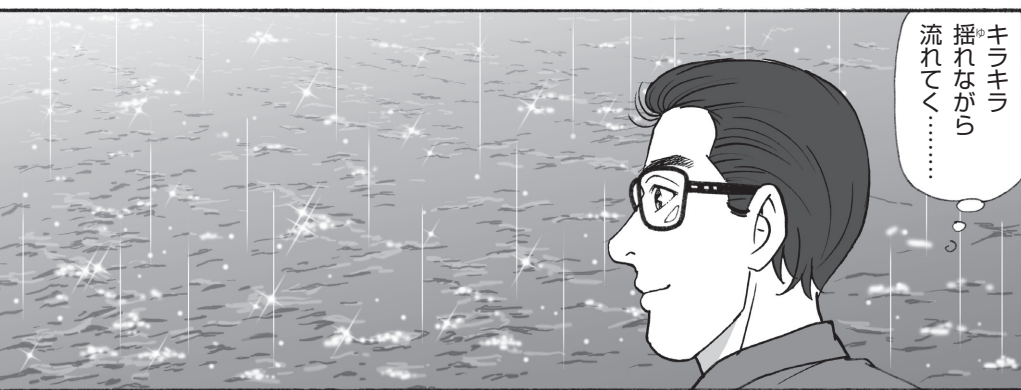
やがて両者の間に壁が生じ
居場所を失った哲也は
学業も夢も手放したかのような
怠惰な生活を送るようになる

迷路から抜け出せないまま
専門学校の卒業を迎えた哲也は
1年間だけ 就職浪人の道を選んだ

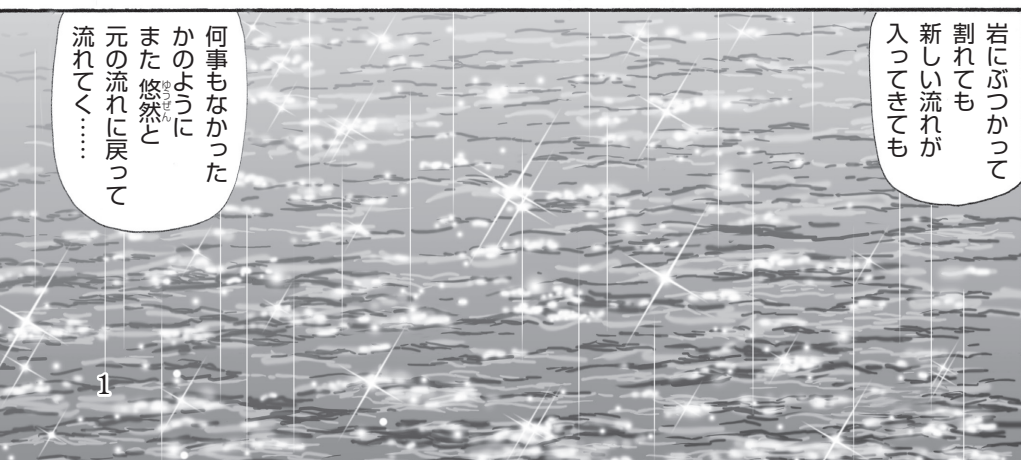




江の川

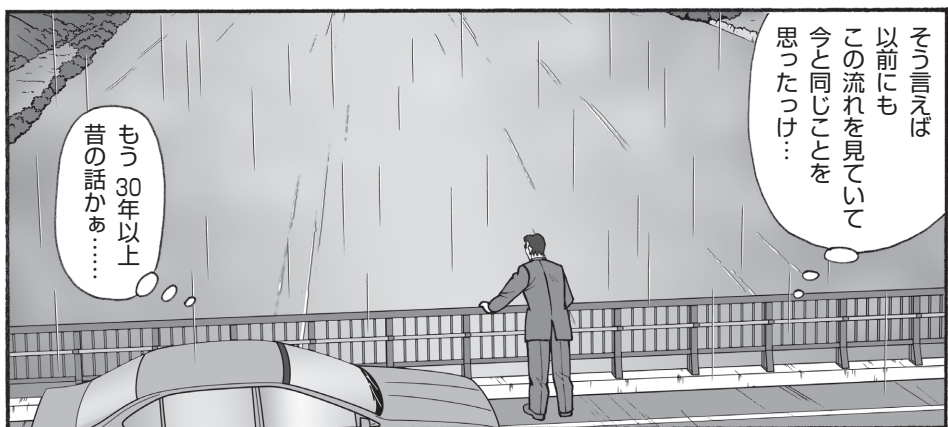


キラキラ
揺れながら
流れてく……

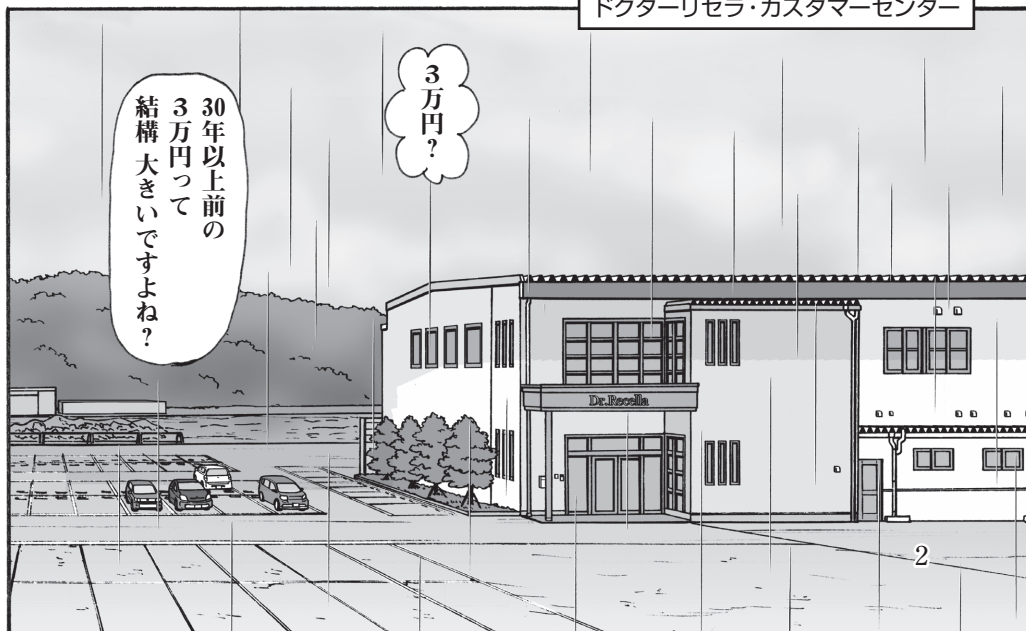


岩にぶつかって
割れても
新しい流れが
入ってきて

何事もなかった
かのように
また 悠然と
元の流れに戻って
流れてく……



ドクターリセラ・カスタマーセンター



アルバイトの
収入だけで都会で
自活してるんだから

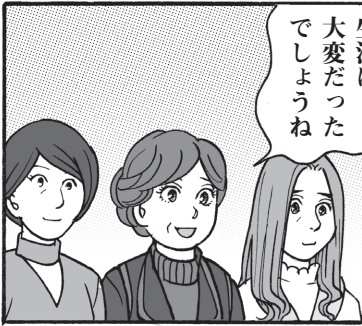
その中から実家へ
毎月3万円の
仕送りするのは
大変だったと
思います

でも専門学校を
卒業したのに1年間の
フリーター生活を許して
もらったんだから

実家を支援することは
当然だと兄自身が
思っていたようです



生活は
大変だった
でしょうね



そうですね
……でも
実家の生活も
大変だったんです

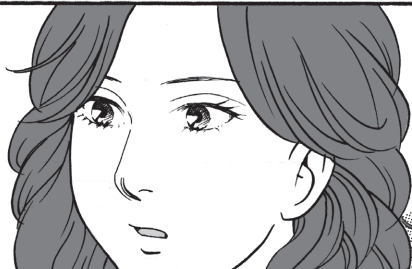
その頃私は
高校を卒業して
歯科衛生士の
専門学校に
入学したばかり
でしたし

僕は中学生
妹はまだ
小学生でした



話は少し
廻りますが…

兄が高校卒業を
目前に控えた頃
父が突然
激しい腰痛に
襲われました



大工仕事は休まざるを得なくなり
収入が途絶える中で
治療費は出ていきます

そこで兄は専門学校の入学費を
少しでも自分で出すために
冬休みやその他の休みをすべて
アルバイトに注ぎ込みました

穴掘り人夫
求む！
日給8千円
日払い

日給8千円
しかも日払い！

でも穴掘り？
穴掘りって
何だろう？

穴を掘って
8千円か…

俺でも
できそうだな
応募してみよう！

最初はツルハシで
地面を叩き崩して

硬い土の部分は
剣スコで掘って
柔らかい土は
平スコで大きく
掘り出すんだ

これって
何のために
掘ってるん
ですかね？

おれたまに
出稼ぎでこっちに
出てくっただけけん
そぎゃんこと
考えたこともないよ



それ以降 兄は 最大限^{ていげん}丁寧に
穴を掘るように努めました

少しでも 凸凹^{でこぼこ}があると
爪を真つ黒^{まっくろ}にしながらも
指で綺麗に補正したそうです

そんな兄の仕事ぶりに
感心した水道屋さんが――

君なかなか
やるなあ！

ウチの社員に
ならんか？

ありがたいお話ですが
薬種商専門^{やくしゅしょう}学校に
通うことが決まってい
ますので……

そうか
残念……
でも
頑張つてな

――この時以来
自分が苦しい時でも
実家を支援することが
兄にとって
当然のことと
なったようです

それと兄は
この穴掘りバイト^{あなほり}で
「貴重な勉強ができた」と
喜んでいました

つまりどんな仕事でも
「一所懸命やつていれば
誰かがどこかで必ず
見てくれている」
ということと

「単純な作業でも
しっかりと
目的意識を持って
やれば 結果が
違ってくる」
ということを
学んだそうです

なるほど……
コピー^{コピー}つ取るのにも
目的が分かっていれば
枚数を分けたり
裏表コピー^{コピー}にしたり
とかできるもんね

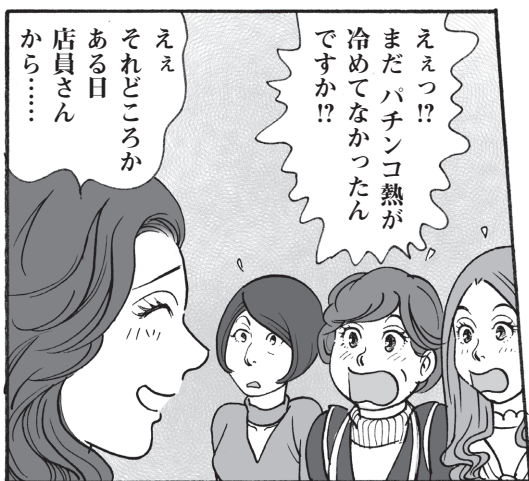
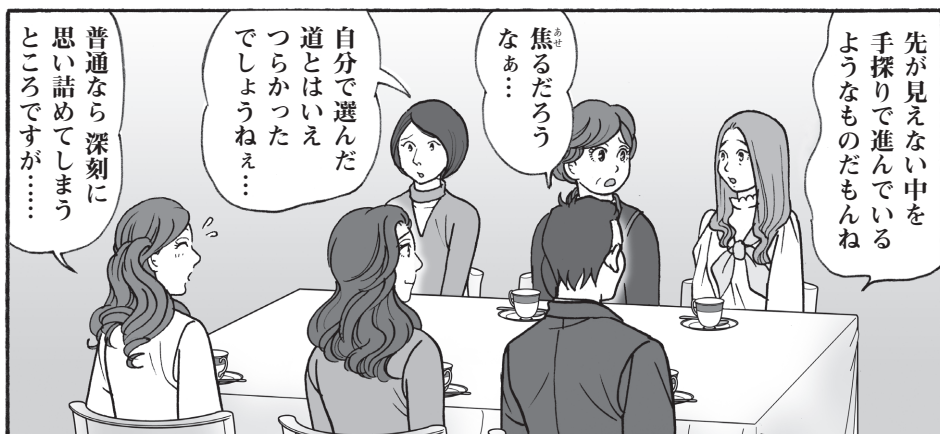
兄は実家の状態をよく分かっていたからフリーターの身でありながらも無理を重ねてくれたんだと思います

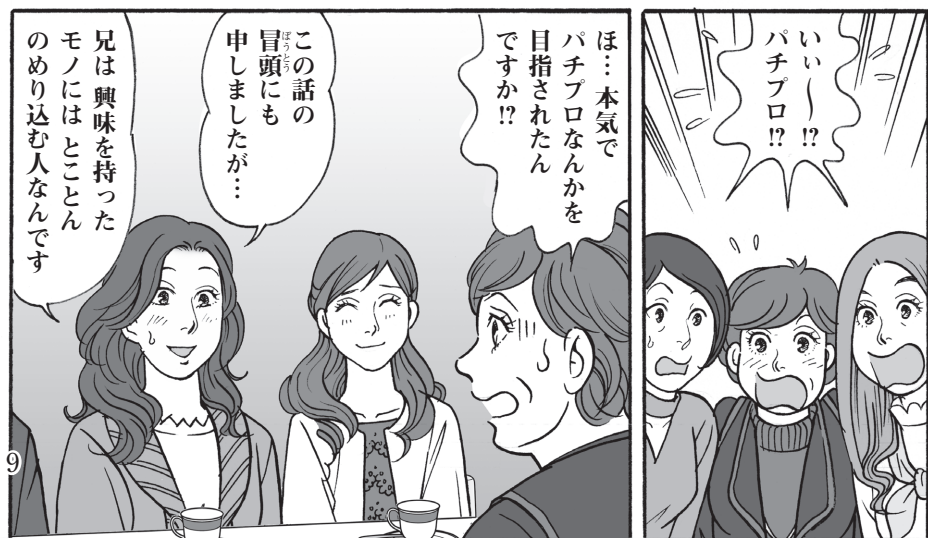
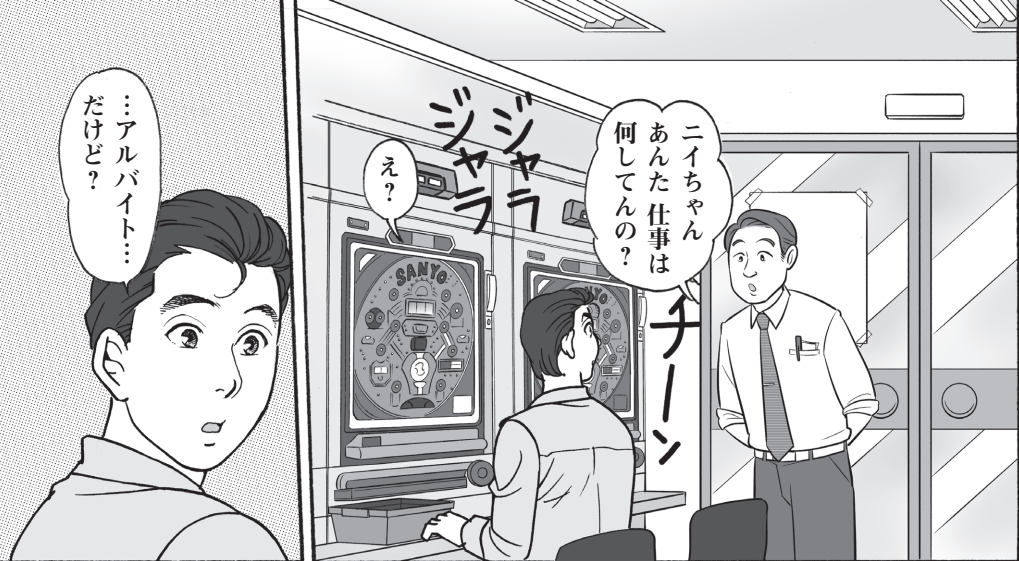
同じ所で長く働くと
そのまま埋もれて
しまいかねないから
最長でも3カ月で
別のバイトに替えよう



将来的にも
普通免許ぐらい
取っておいた方が
いいかなあ……

貯金なんてほとんど無い
なけなしの状態でしたが
兄は自動車教習所に通って
普通免許を取りました





多分兄さんは
分かってたんじや
ないかなあ……

高い志を持って
飛び込んだ世界だったのに

周回の冷めた雰囲気
感化されてしまった
自分の脆さを……

だから何でもいから
熱中できるモノが
欲しかったんだと思います

確かにそれも
あると思うけど

基本的に
あつからんとした
人だからあまり
深く考えずに
OKしたんじや
ないかしら

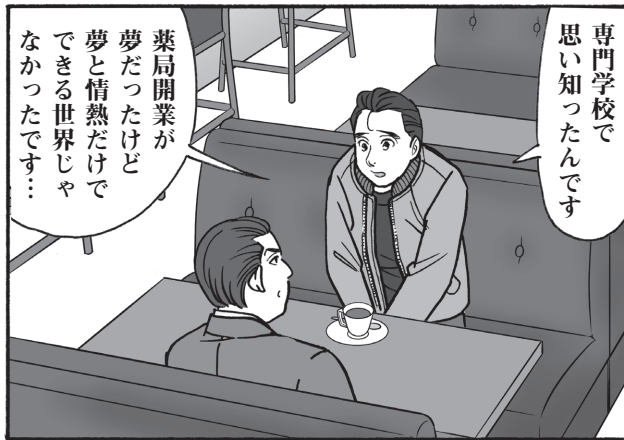
『ピッパくん』
だ……

……でその店員さんから
パチプロの師匠を
紹介してもらったそうです

初めまして
奥迫と
申します

ニイちゃん
あんたは
まだ若い

他にやりたいこと
あったんと違うか？







兄の仕事ぶりは覚えが早く
手際も良かったので、店長や先輩店員から
とても評判が良かったそうです

すごい！
学校では
問題児だったのに
やればできるん
だねー!!
彼女はお嬢様育ちのせいか
仕事上のミスが目立ちましたが
兄がうまくカバーしてあげたようです

頼りになるなあ
奥迫くん!

今すぐにでも
薬局の店長が
できるんじゃない?

そんな
甘いもんじゃ
ないだろ

でも
奥迫くんも
薬局開業を
目指してるん
でしょ?

え...?

い...
いや.....

え?

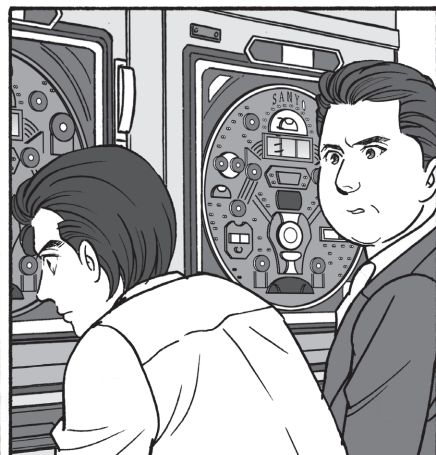
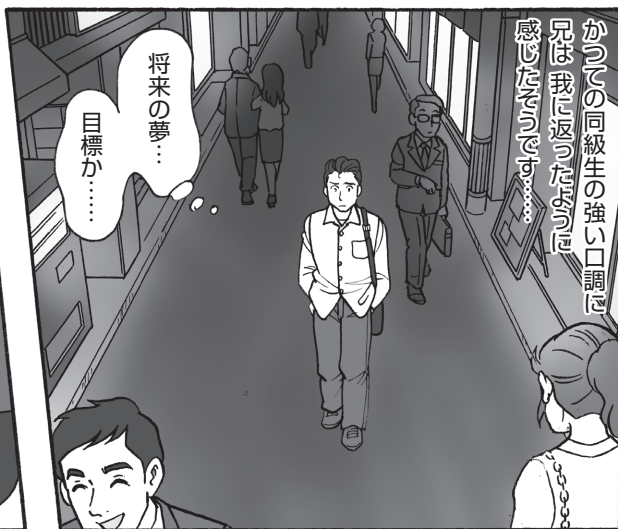
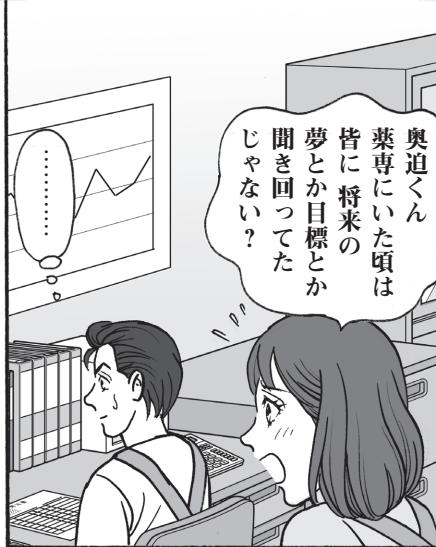
他の道を
見つけたの?

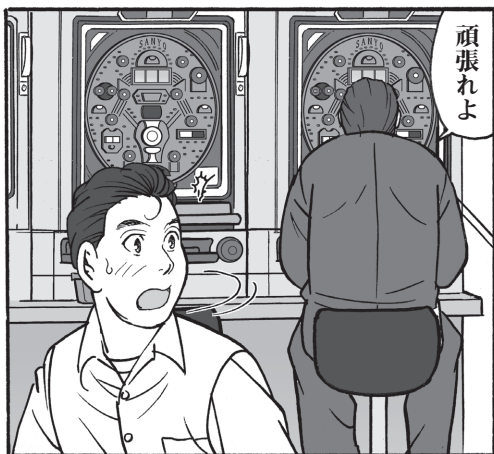
.....パチプロに..
なろうと思ってる

パチプロ!?

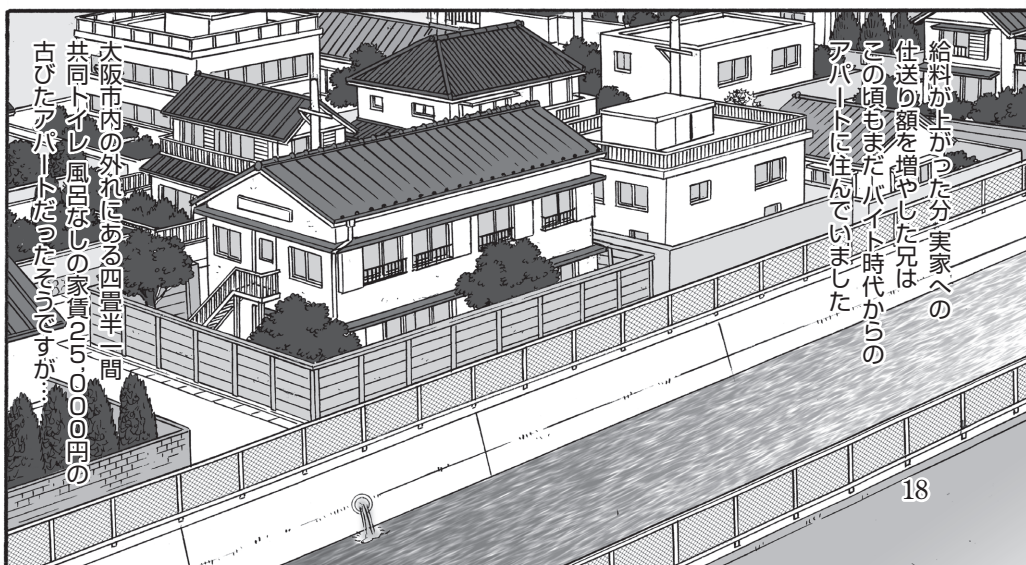
やめなさいよ
そんなの!

うるさいな
放つといってくれよ





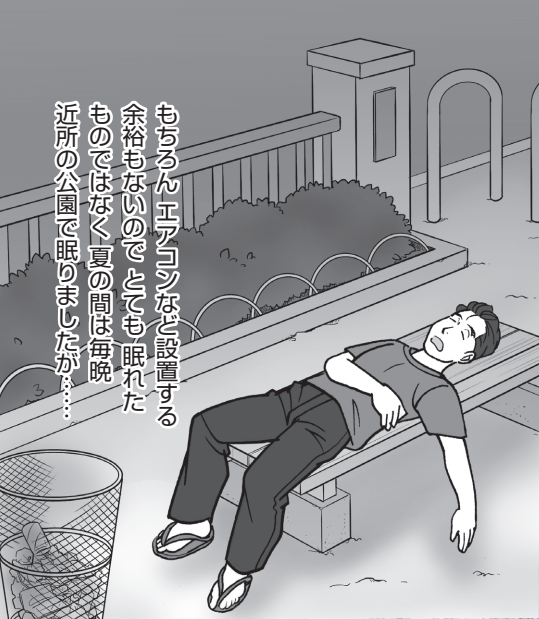




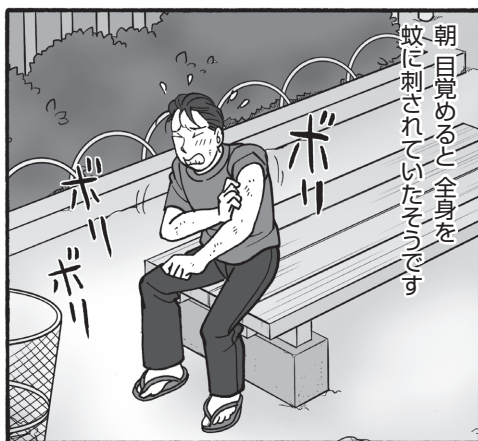
ドブ川沿いに建っていたため
夏の夜は暑さと湿気で
蒸し風呂のようになります



もちろんエアコンなど設置する
余裕もないのでとても眠れた
ものではなく夏の間は毎晩
近所の公園で眠りましたが……



朝目覚めると全身を
蚊に刺されていたそうです



それでも仕事が楽しくて
張り切って毎日を過ごしていました



とろろか1年後

わあ！
戻ってきて
くれたのね！

君まだ
いたの??

部署異動で兄は
店舗配属となりました



まあ
バイトじゃなく
社員としての
店舗勤めも
将来への
いい勉強に
なるだろう

そう今となれば確かにそれは
いい勉強にはなりましたが
当時の兄には
悩みの種となるものでした





確かにねえ…

奥迫くんの
気持ちも
分かるけど…

利益の高い順に
販売していくのが
店のルールだって
ことも分かるわ…

体が不調で
相談したい
おばあちゃんが
来てもろくに
相談にも乗って
あげられない

それが
店のルールだって
言うの？

そうは言っ
ていないわ…

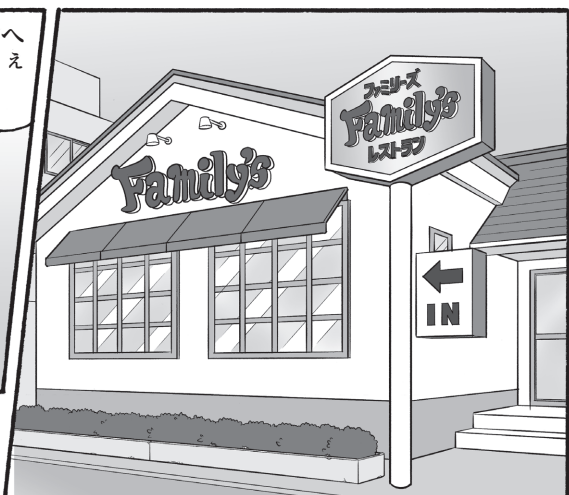
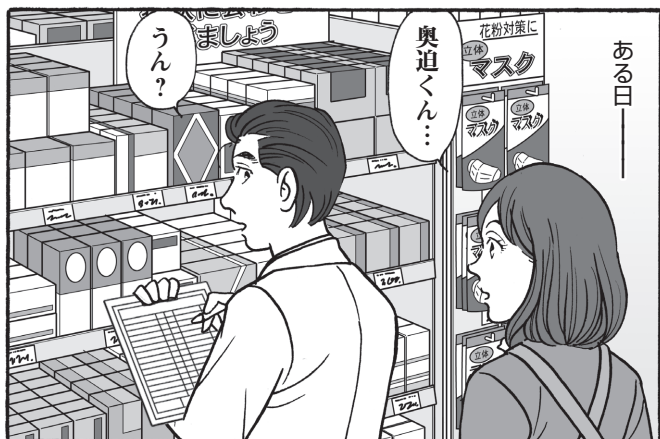
肝心の薬よりも
食品ラップや
トイレットペーパーを
どんだん売りさばくのが
俺たちの仕事なのかい？

俺は人の役に
立ちたいから
この仕事を
選んだのに…

理想と現実が
違い過ぎて
嫌になってきたよ…

奥迫くん
話の途中だけど
お昼休みが終わるわ

店に帰ろう



お父さんの病気が
酷くなっちゃった
らしいの…

このままじゃ
家業が立ちいか
なくなるのも
時間の問題だし
私に帰ってこい
って…

なるほど…

でも潮時かも
しれないよ
親孝行して
あげなよ

私はまだまだ
自信がないし
もう少しここで
勉強したい

奥迫くん
会社のやり方は
自分の目指すモノ
じゃないって
いつも言ってるでしょ？

うん

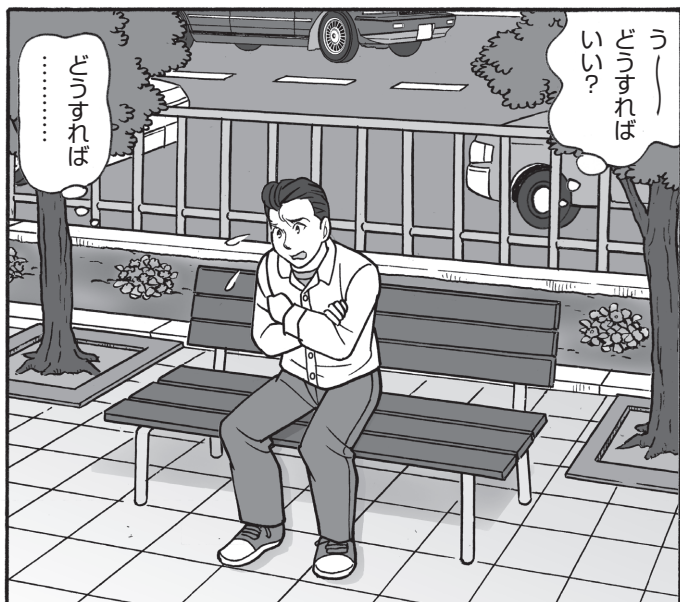
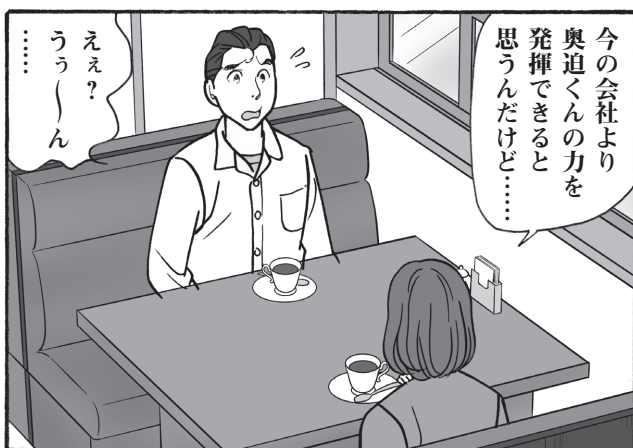
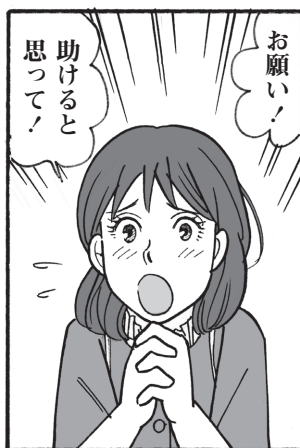
えっ!?

もし
良かったら
……

家業を手伝って
もらえないかしら？

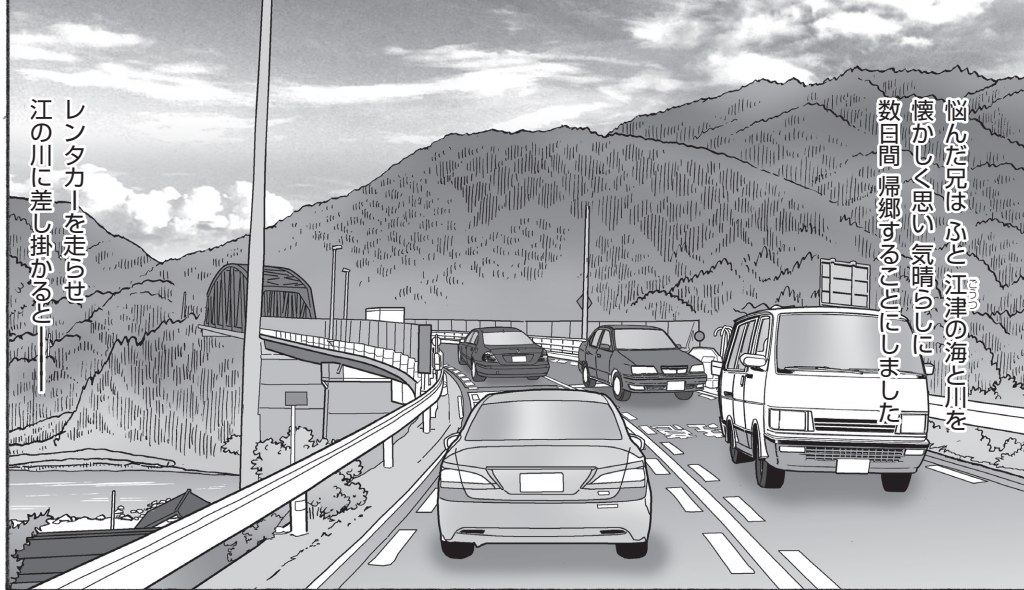
ええっ!?

何で
俺が??



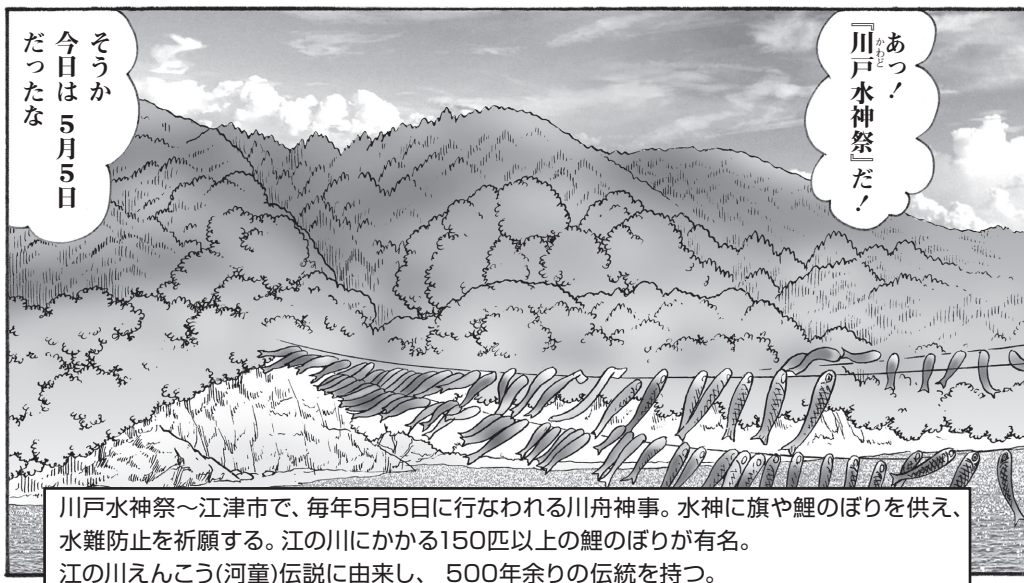
悩んだ兄はふと江津の海と川を
懐かしく思い気晴らしに
数日間帰郷することになりました

レンタカーを走らせ
江の川に差し掛かると



あっ！
『川戸水神祭』だ！

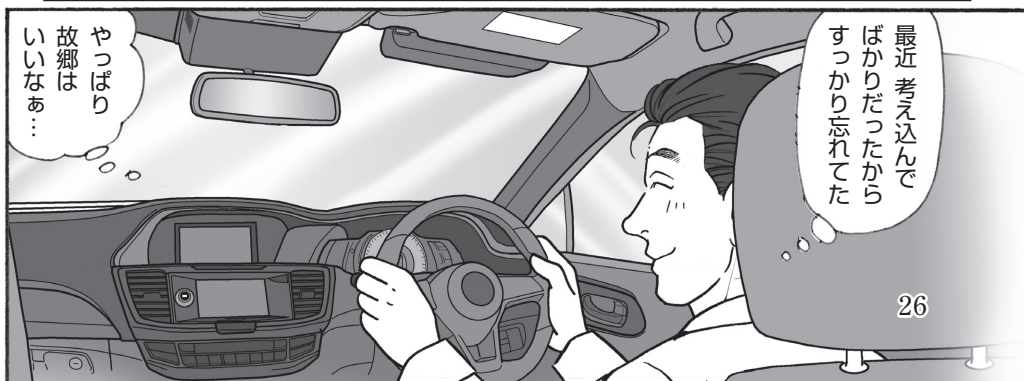
そうか
今日は5月5日
だったな



川戸水神祭～江津市で、毎年5月5日に行なわれる川舟神事。水神に旗や鯉のぼりを供え、水難防止を祈願する。江の川にかかる150匹以上の鯉のぼりが有名。
江の川えんこう(河童)伝説に由来し、500年余りの伝統を持つ。

最近考え込んで
ばかりだったから
すっかり忘れてた

やっぱり
故郷は
いいなあ…



いやあ
久しぶりだね
家族が揃うのは

加代子も
もう立派な
歯科衛生士
だもんな
お父ちゃんも
お母ちゃんも
安心だね

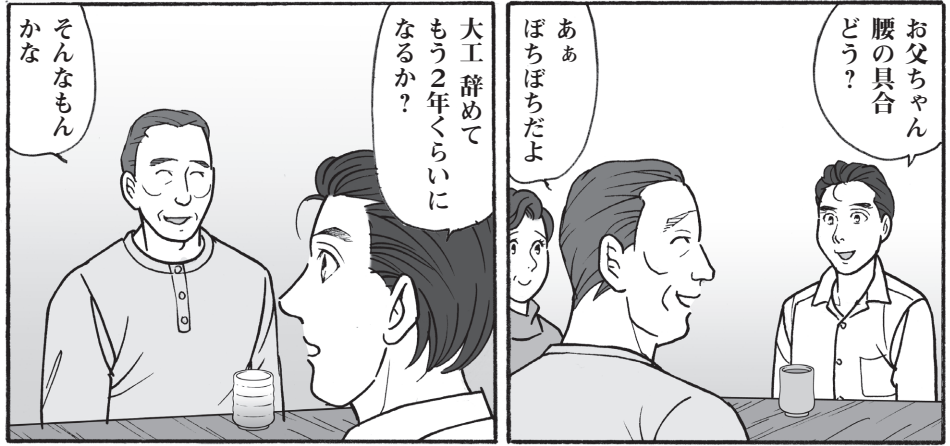
もうすぐ
帰ってくるよ

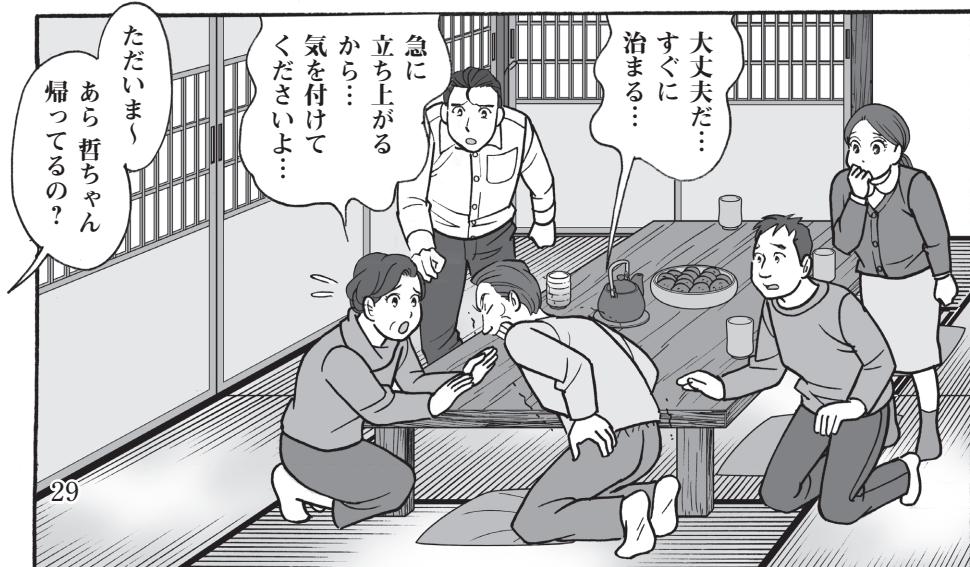
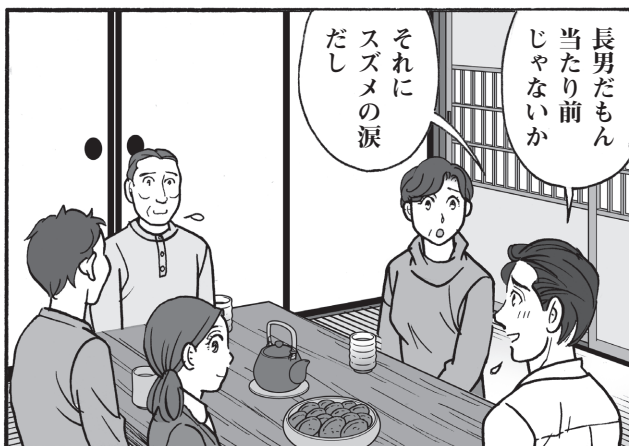
お母ちゃん
加代子姉ちゃん
がまだだよ

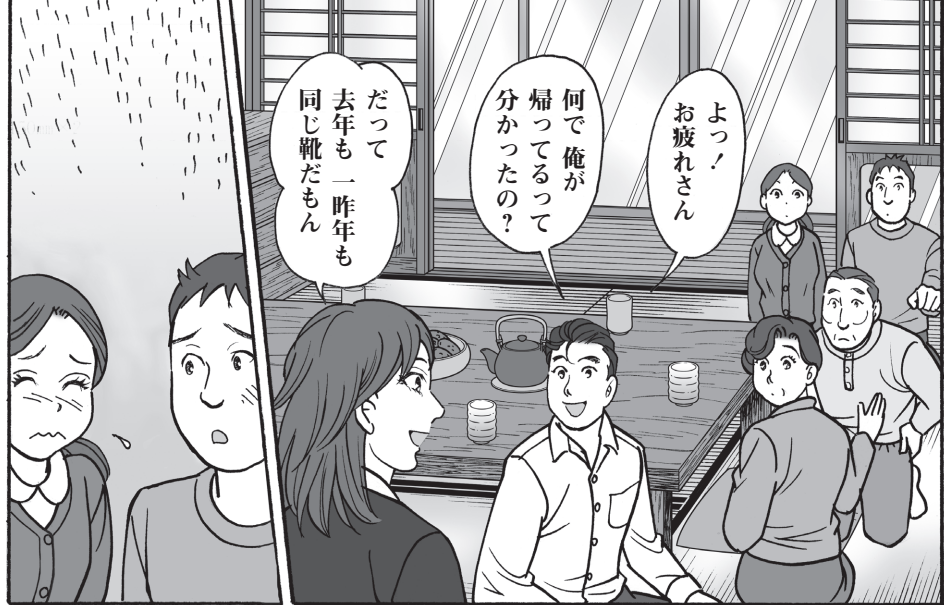
何言ってるの
毎月仕送り
してくれて
本当に
助かってるよ
ねえ
お父さん

長男の俺が
頼りないけど

ああ
本当だ



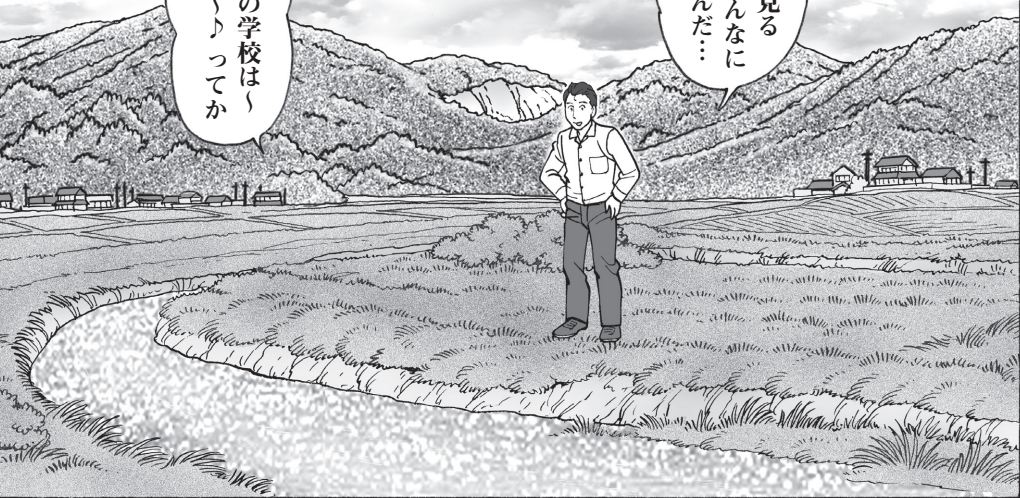




翌朝――

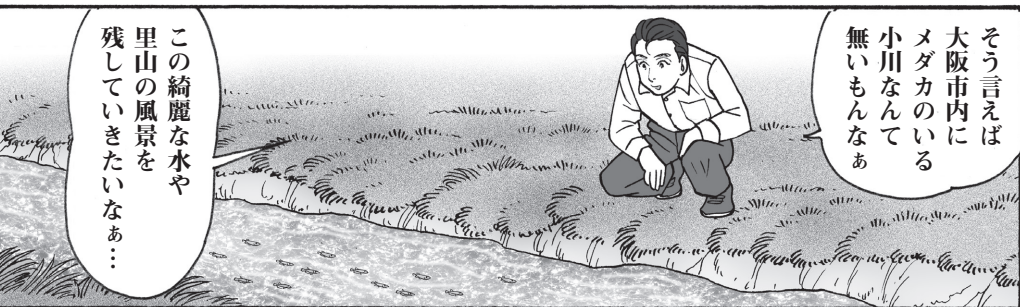
久しぶりに見る
小川ってこんなに
綺麗だったんだ……

メダカの学校は
川の中……ってか



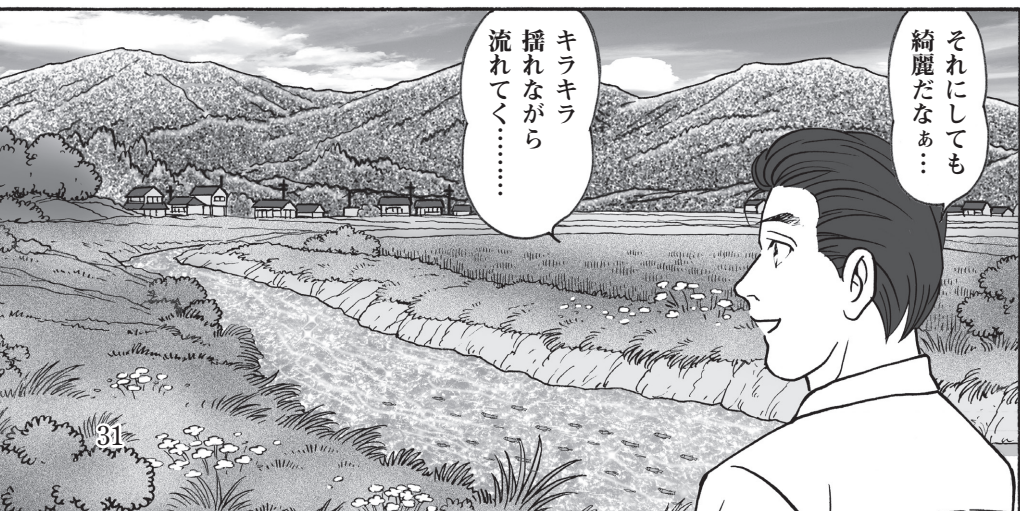
そう言えば
大阪市内に
メダカのいる
小川なんて
無いもんなあ

この綺麗な水や
里山の風景を
残していきたいなあ……



それにしても
綺麗だなあ……

キラキラ
揺れながら
流れてく……



岩にぶつかって
割れても

新しい流れが
入ってきて

何事もなかったかのように
また悠然と元の流れに
戻って流れてく……

水は素直
だなあ……

今の会社では
本当に人の役に立つ
仕事はできない……

富山の話は
俺にとって新しい
流れなのかも
しれない……

失敗しても
また元の流れに
戻ればいいさ！

よしっ
決めた！

兄の運命がこの川の流れのように
煌めきながら悠々と流れて行けば
いいのですか……



城嶋 杏香 (じょうじま きょうこ)
常務取締役

代表の奥迫は、自然豊かな島根県の江津市で生まれ育ちました。

愛する美しい里山をいつまでも残したいという幼少の頃からの想いが、弊社の自然にも人体にも優しい石鹼系の製品開発となっています。

そしてその想いは、人の美と健康に関する食の安全を広げる活動にも至っています。

— 未来の地球環境のために。

私たちの生活はとても便利なもので溢れています。

ですが、その便利な環境が、共存する小さな生き物をはじめ、地球全体に大きな影響を与えていることをご存知でしょうか？

弊社の使命は、地球環境にも人の体にも優しい製品や食品を開発し、人を健康にすることで幸せな暮らしのお役に立つこと、ひとりでも多くの方に地球環境の大切さを知っていただくことで、美しい海、美しい地球を次の世代に繋いでいくこと。

これからも一步一步、想いをひとつにする方々と一緒に、目的に向かって更に前進してまいります。

お問い合わせ

ドクターリセラ株式会社

大阪本社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-7-17

TEL: 06-6990-4700 FAX: 06-6990-4880

<http://www.dr-recella.com/>



発行 ドクターリセラ(株)

2018年7月31日 第1版

構成 谷川 桜太郎

まんが 高下 知代 / 谷川 知子

D T P 倉嶋 満寿美

制作 (株)美健ガイド社©

印刷製本 まつぎき印刷(株)

落丁本・乱丁本はお取り替えます。禁無断転載

1810(556)

定価(本体400円+税)



スキンケアを通して 幸せの輪を広げる
Dr. Recella
ドクターリセラ